

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

03.03.03

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日

Date of Application:

2002年 3月 4日

出 願 番 号

Application Number:

特願2002-056897

[ST.10/C]:

[JP2002-056897]

出 願 人
Applicant(s):

松下電器産業株式会社

REC'D 25 APR 2003

WIPO

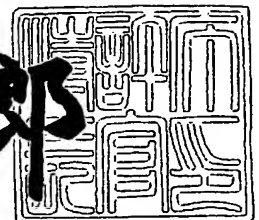
PCT

PRIORITY
DOCUMENT
SUBMITTED OR TRANSMITTED IN
COMPLIANCE WITH RULE 17 (a) OR (b)

2003年 4月 8日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Japan Patent Office

太田信一郎



BEST AVAILABLE COPY

出証番号 出証特2003-3024228

【書類名】 特許願

【整理番号】 2002030051

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 3/14

【発明者】

 【住所又は居所】 大阪府門真市大字門真 1 0 0 6 番地 松下電器産業株
式会社内

 【氏名】 西井 由己

【発明者】

 【住所又は居所】 大阪府門真市大字門真 1 0 0 6 番地 松下電器産業株
式会社内

 【氏名】 池田 巧

【発明者】

 【住所又は居所】 大阪府門真市大字門真 1 0 0 6 番地 松下電器産業株
式会社内

 【氏名】 庄村 夢

【特許出願人】

 【識別番号】 000005821

 【氏名又は名称】 松下電器産業株式会社

【代理人】

 【識別番号】 100097445

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 岩橋 文雄

【選任した代理人】

 【識別番号】 100103355

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 坂口 智康

【選任した代理人】

 【識別番号】 100109667

【弁理士】

【氏名又は名称】 内藤 浩樹

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 011305

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9809938

【書類名】 明細書

【発明の名称】 データ出力方法、サーバ装置および情報処理装置

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 同一機能を実現し、かつ属性値が異なるボタンが 2 以上表示されている入力画面上の当該 2 以上のボタンのうち、一のボタンの選択指示を受け付ける選択指示受付ステップと、

前記選択指示受付ステップで受け付けた選択指示に基づいて、一のボタンの選択指示に関する情報である選択指示情報を記録する選択指示情報記録ステップと、前記選択指示情報記録ステップで記録した選択指示情報に基づいて、出力するデータを変えて出力するデータ出力ステップを具備するデータ出力方法。

【請求項 2】 前記データ出力ステップで出力するデータがインターネット上のホームページである請求項 1 記載のデータ出力方法。

【請求項 3】 前記データ出力ステップは、前記選択指示情報記録ステップで記録した選択指示情報に基づいて、データをフィルタリングすることにより出力データを変える請求項 1 または請求項 2 いずれか記載のデータ出力方法。

【請求項 4】 前記データ出力ステップは、前記選択指示情報記録ステップで記録した選択指示情報に基づいて、データの出力位置を変えることにより出力データを変える請求項 1 または請求項 2 いずれか記載のデータ出力方法。

【請求項 5】 前記データ出力ステップは、前記選択指示情報記録ステップで記録した選択指示情報に基づいて、データに対して一定の処理を行うことにより出力データを変える請求項 1 または請求項 2 いずれか記載のデータ出力方法。

【請求項 6】 前記一定の処理が、言語変換の処理であることを特徴とする請求項 5 記載のデータ出力方法。

【請求項 7】 前記一定の処理が、漢字を仮名に変換する仮名変換の処理であることを特徴とする請求項 5 記載のデータ出力方法

【請求項 8】 前記一定の処理が、仮名を漢字に変換する仮名漢字変換の処理であることを特徴とする請求項 5 記載のデータ出力方法

【請求項 9】 前記データ出力ステップは、前記選択指示情報記録ステップで記録した選択指示情報に基づいて、画面を構成し得る 2 以上の画面データのうち

から一の画面データを選択して出力することにより画面を変える請求項1または請求項2いずれか記載のデータ出力方法。

【請求項10】 1以上の選択指示情報を格納している選択指示情報格納部と、
データ識別子とデータの対を1組以上格納しているデータ格納部と、
データ識別子を有するデータの送信指示命令を受け付ける送信指示命令受付部と、
前記送信指示命令が有するデータ識別子と対になるデータを前記データ格納部から取得するデータ取得部と、
前記選択指示情報格納部に格納されている1以上の選択指示情報に基づいて、前記データ取得部で取得したデータに対して一定の処理を行うデータ処理部と、
前記データ処理部で処理したデータを送信するデータ送信部を
具備するサーバ装置。

【請求項11】 前記一定の処理がフィルタリング処理である請求項10記載のサーバ装置。

【請求項12】 前記一定の処理がデータの配置を変更する処理である請求項10記載のサーバ装置。

【請求項13】 前記一定の処理が言語の翻訳処理である請求項10記載のサーバ装置。

【請求項14】 前記一定の処理が仮名変換処理である請求項10記載のサーバ装置。

【請求項15】 前記一定の処理が漢字変換処理である請求項10記載のサーバ装置。

【請求項16】 前記一定の処理が候補となる2以上の画面データの中から一の画面データを選択する処理である請求項10記載のサーバ装置。

【請求項17】 1以上の選択指示情報を格納している選択指示情報格納部と、
データを受信するデータ受信部と、
前記選択指示情報格納部に格納されている選択指示情報に基づいて、前記データ

受信部で受信したデータに対して一定の処理を行うデータ処理部と、
前記データ処理部で処理したデータの出力指示をするデータ出力指示部を
具備する情報処理装置。

【請求項 1 8】 前記一定の処理がフィルタリング処理である請求項 1 7 記載
の情報処理装置。

【請求項 1 9】 前記一定の処理がデータの配置を変更する処理である請求項
1 7 記載の情報処理装置。

【請求項 2 0】 前記一定の処理が言語の翻訳処理である請求項 1 7 記載の情
報処理装置。

【請求項 2 1】 前記一定の処理が仮名変換処理である請求項 1 7 記載の情報
処理装置。

【請求項 2 2】 前記一定の処理が漢字変換処理である請求項 1 7 記載の情報
処理装置。

【請求項 2 3】 前記一定の処理が候補となる 2 以上の画面データの中から一
の画面データを選択する処理である請求項 1 7 記載の情報処理装置。

【発明の詳細な説明】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】

本発明はデータを出力する方法およびサーバ装置に存在するデータを出力する
情報処理装置等に関するものである。

【0 0 0 2】

【従来の技術】

近年、インターネット上に多数のホームページと呼ばれるデータが存在し、世
界中からデータを取得できるようになってきた。一方、データが氾濫し、見たく
ないデータ、見ても分からないデータが多いのが実情である。また、データの
見せ方も、見たいデータから見られる、などの工夫がなされていなかった。

【0 0 0 3】

かかる課題に対応するために、個人の属性（性別、年齢、趣味など）を入力し
ておき、その個人属性に合致したデータ表示を行う技術があった。

【 0 0 0 4 】

【発明が解決しようとする課題】

しかし、かかる従来技術によれば、個人属性を入力する手間が必要であり、かつ個人情報の流出に繋がり、好ましくなかった。

【 0 0 0 5 】

【課題を解決するための手段】

以上の課題を解決するために、本発明は、同じ機能を実現し、かつ属性値が異なるボタンが 2 以上表示されている入力画面上の当該 2 以上のボタンのうち、一のボタンの選択指示を受け付ける選択指示受付ステップと、選択指示受付ステップで受け付けた選択指示に基づいて、一のボタンの選択指示に関する情報である選択指示情報を記録する選択指示情報記録ステップと、選択指示情報記録ステップで記録した選択指示情報に基づいて、出力するデータを変えて出力するデータ出力ステップを具備するデータ出力方法により、個人属性を入力せずに、自然に、その個人にあったデータの出力が可能になる。

【 0 0 0 6 】

【発明の実施の形態】

以下、実施の形態について図面を参照して説明する。なお、実施の形態において同じ符号を付した構成要素は同様の動作を行うので、再度の説明を省略する場合がある。

【 0 0 0 7 】

（実施の形態 1）

図 1 は、本発明におけるサーバ装置 1 1 と情報処理装置 1 2 を有する情報処理システムのブロック図である。

【 0 0 0 8 】

サーバ装置 1 1 は、選択指示情報格納部 1 1 0 1、データ格納部 1 1 0 2、送信指示命令受信部 1 1 0 3、データ取得部 1 1 0 4、データ処理部 1 1 0 5、データ送信部 1 1 0 6、選択指示情報受信部 1 1 0 7、選択指示情報蓄積部 1 1 0 8 を有する。

【 0 0 0 9 】

情報処理装置 1 2 は、選択指示情報入力受付部 1 2 0 1、送信指示命令入力受付部 1 2 0 2、選択指示情報送信部 1 2 0 3、送信指示命令送信部 1 2 0 4、データ受信部 1 2 0 5、データ出力指示部 1 2 0 6、データ出力部 1 2 0 7 を有する。

【 0 0 1 0 】

選択指示情報格納部 1 1 0 1 は、1 以上の選択指示情報を格納している。この選択指示情報とは、同じ機能を実現し、かつ属性値が異なるボタンが 2 以上存在する場合に、2 以上のボタンのうちからどのボタンが選択されたかを示す銃尾方である。この選択指示情報は、情報処理装置 1 2 から送信された情報である。選択指示情報格納部 1 1 0 1 は、不揮発性の記録媒体でも、揮発性の記録媒体でも良い。

【 0 0 1 1 】

データ格納部 1 1 0 2 は、データ識別子とデータの対を 1 組以上格納している。データ識別子とは、データを識別する情報であれば何でも良い。データ識別子は、例えば、URL である。データ格納部 1 1 0 2 は、通常、ハードディスク等の不揮発性の記録媒体であるが、揮発性の記録媒体を排除するものではない。

【 0 0 1 2 】

送信指示命令受信部 1 1 0 3 は、データ識別子を有するデータの送信指示命令を受け付ける。送信指示命令受信部 1 1 0 3 は、無線または有線の通信手段で実現され得る。但し、送信指示命令受信部 1 1 0 3 は、放送を受信する手段でも実現可能である。

【 0 0 1 3 】

データ取得部 1 1 0 4 は、送信指示命令受信部 1 1 0 3 が受信した送信指示命令が有するデータ識別子と対になるデータをデータ格納部 1 1 0 2 から取得する。データ取得部 1 1 0 4 は、通常、ソフトウェアで実現され得るが、専用回路（ハードウェア）で実現されても良い。

【 0 0 1 4 】

データ処理部 1 1 0 5 は、選択指示情報格納部 1 1 0 1 に格納されている 1 以上の選択指示情報に基づいて、データ取得部 1 1 0 4 で取得したデータに対して

一定の処理を行う。一定の処理とは、データをフィルタリングする処理や、データを構成するサブデータを並び替えて、見せ方の異なるデータを構築する処理や、データ中の文章を翻訳する処理や、データ中の漢字をひらがなに変換する仮名変換処理や、データ中のひらがなを漢字に変換する処理や、出力する対象の候補となるデータが2以上存在する場合に一つのデータを選択する処理など種々考えられる。

【 0 0 1 5 】

データ送信部 1 1 0 6 は、データ処理部 1 1 0 5 で処理したデータを送信する。データ送信部 1 1 0 6 は、通常、有線または無線の通信手段で実現され得るが、放送手段で実現しても良い。

【 0 0 1 6 】

選択指示情報受信部 1 1 0 7 は、情報処理装置 1 2 から送信される選択指示情報を受信する。選択指示情報受信部 1 1 0 7 は、通常、有線または無線の通信手段で実現され得るが、放送を受信する手段（チューナーおよびそのドライバーソフト等）を排除するものではない。

【 0 0 1 7 】

選択指示情報蓄積部 1 1 0 8 は、選択指示情報受信部 1 1 0 7 が受信した選択指示情報を選択指示情報格納部 1 1 0 1 に蓄積する。但し、選択指示情報格納部 1 1 0 1 に格納されている選択指示情報は、別の手段により蓄積されても良い。つまり、選択指示情報受信部 1 1 0 7 と選択指示情報蓄積部 1 1 0 8 は、必須の構成要素ではない。

【 0 0 1 8 】

選択指示情報入力受付部 1 2 0 1 は、選択指示情報の入力を受け付ける。選択指示情報入力受付部 1 2 0 1 は、例えば、マウスのドライバーソフトやキーボードのドライバーソフトにより実現され得る。

【 0 0 1 9 】

送信指示命令入力受付部 1 2 0 2 は、送信指示命令の入力を受け付ける。送信指示命令入力受付部 1 2 0 2 は、例えば、マウスのドライバーソフトやキーボードのドライバーソフトにより実現され得る。

【 0 0 2 0 】

選択指示情報送信部 1 2 0 3 は、選択指示情報入力受付部 1 2 0 1 で受け付けた選択指示情報を送信する。選択指示情報送信部 1 2 0 3 は、有線または無線の通信手段で実現し得るが、放送手段を排除するものではない。

【 0 0 2 1 】

送信指示命令送信部 1 2 0 4 は、送信指示命令入力受付部 1 2 0 2 で受け付けた送信指示命令を送信する。送信指示命令送信部 1 2 0 4 は、有線または無線の通信手段で実現し得るが、放送手段を排除するものではない。

【 0 0 2 2 】

データ受信部 1 2 0 5 は、サーバ装置 1 1 から送信されたデータを受信する。データ受信部 1 2 0 5 は、通常、有線または無線の通信手段で実現し得るが、放送を受信する手段を排除するものではない。

【 0 0 2 3 】

データ出力指示部 1 2 0 6 は、データ受信部 1 2 0 5 が受信したデータの出力を指示する。データ出力指示部 1 2 0 6 は、通常、ソフトウェアで実現し得るが、専用回路（ハードウェア）で実現しても良い。なお、出力とは、主として表示を意味するが、印字や他の装置への送信を排除するものではない。これは、本明細書における他の記載においても言える。

【 0 0 2 4 】

データ出力部 1 2 0 7 は、データ出力指示部 1 2 0 6 の指示に従って、データを出力する。データ出力部 1 2 0 7 は、液晶ディスプレイや C R T などが該当する。データ出力部 1 2 0 7 は、情報処理装置 1 2 に必須の構成ではない。つまり、情報処理装置 1 2 は、情報処理装置 1 2 とは分離されたデータ出力部（ディスプレイ等）にデータの出力指示をしても良い。

【 0 0 2 5 】

以下、本実施の形態におけるサーバ装置 1 1 の動作について、図 2 のフローチャートを参照して説明する。

【 0 0 2 6 】

（ステップ S 2 0 1）送信指示命令受信部 1 1 0 3 と選択指示情報受信部 1 1

07は、それぞれ送信指示命令と選択指示情報を受信したか否か判断する。受信すればステップS202に行き、受信しなければステップS201に戻る。なお、送信指示命令は、データ識別子を含む。また、送信指示命令に含まれるデータ識別子は選択指示情報と一致する場合がある。また、送信指示命令受信部1103と選択指示情報受信部1107は、物理的に同一のハードウェア等で実現されても良い。

【0027】

(ステップS202) データ取得部1104は、送信指示命令受信部1103が受け付けた送信指示命令が有するデータ識別子で識別されるデータをデータ格納部1102から取得する。

【0028】

(ステップS203) データ処理部1105は、ステップS202で取得したデータに対して、ステップS201で受信した選択指示情報に基づいた一定の処理を行う。一定の処理とは、上述したようなフィルタリング処理や翻訳処理や仮名漢字変換処理やサブデータの並び替え処理など種々考えられる。また、データ処理部1105は、ステップS201で受信した選択指示情報に基づいた一定の処理を行う場合もあるが、選択指示情報格納部1101に格納されている選択指示情報に基づいた一定の処理を行う場合もあり得る。後者の場合は、選択指示情報格納部1101に格納されている選択指示情報は、予め情報処理装置12からサーバ装置に送信されており、当該選択指示情報は選択指示情報受信部1107が受信し、選択指示情報蓄積部1108が蓄積する。

【0029】

(ステップS204)、データ送信部1106は、ステップS203で処理したデータを情報処理装置12に送信する。

【0030】

次に、本実施の形態における情報処理装置12の動作について、図3のフローチャートを参照して説明する。

【0031】

(ステップS301) 選択指示情報入力受付部1201は、選択指示情報の入

力を受け付けたか否かを判断する。選択指示情報の入力を受け付ければステップ S 3 0 2 に行き、選択指示情報の入力を受け付けなければステップ S 3 0 3 に飛ぶ。

【0032】

(ステップ S 3 0 2) 選択指示情報送信部 1 2 0 3 は、ステップ S 3 0 1 で受け付けた選択指示情報を取得する。

【0033】

(ステップ S 3 0 3) 送信指示命令入力受付部 1 2 0 2 は、送信指示命令の入力を受け付けたか否かを判断する。送信指示命令の入力を受け付ければステップ S 3 0 4 に行き、送信指示命令の入力を受け付けなければステップ S 3 0 1 に戻る。なお、選択指示情報と送信指示命令が一のデータで共用される場合もある。かかる場合は、選択指示情報入力受付部 1 2 0 1 と送信指示命令入力受付部 1 2 0 2 は、同じものである。

【0034】

(ステップ S 3 0 4) 送信指示命令送信部 1 2 0 4 は送信指示命令を送信し、選択指示情報送信部 1 2 0 3 は選択指示情報を送信する。但し、選択指示情報が存在しない場合は、選択指示情報送信部 1 2 0 3 は何もしない。なお、選択指示情報送信部 1 2 0 3 と送信指示命令送信部 1 2 0 4 は、物理的に同じハードウェア等から構成されている場合もある。また、選択指示情報と送信指示命令が一のデータで共用される場合もある。かかる場合、選択指示情報送信部 1 2 0 3 と送信指示命令送信部 1 2 0 4 は、同じものである。

【0035】

(ステップ S 3 0 5) データ受信部 1 2 0 5 は、サーバ装置 1 1 からデータを受信したか否かを判断する。データを受信すればステップ S 3 0 6 に行き、データを受信しなければステップ S 3 0 5 に戻る。

【0036】

(ステップ S 3 0 6) データ出力指示部 1 2 0 6 は、ステップ S 3 0 5 で受信したデータの出力指示を行う。

【0037】

(ステップ S307) データ出力部 1207 は、データを出力する。

【0038】

以下、本実施の形態における情報処理システムの具体的な例を説明する。今、情報処理システムは、インターネット上のサーバ装置と情報処理装置（クライアント）からなるとする。そして、サーバ装置は、データとしてホームページ（以下、適宜「HP」と言う。）を大量に格納している。

【0039】

かかる状況において、データ処理部の一定の処理がデータの並び替えである例について説明する。

【0040】

今、情報処理装置に、図4に示すHPが表示されている。ここで、「鞆コーナー」と「かばんコーナー」は同じHPに飛ぶボタン（ホットスポットとも言う。）である。ここで、「鞆コーナー」を選択した場合には、サーバ装置のデータ処理部は、大人がページ選択したものと考えて、大人が買いそうな高額のカバンから順にページの上に配置されるようにHTML等のページを記述しているスクリプトの記載を変更する。このHP中のデータの並び方の変更方法は以下の例がある。

【0041】

例えば、図6のようなHPの記述がある。これは、ビットマップと購入ボタンを横並びで1組とし、その組を縦並びで並べる、という意味の記載である、とする。そして、漢字のボタン（例えば、「鞆コーナー」）を選択した場合に、データ（HP）を構成するビットマップデータの属性値（ここでは、値段）が大きい（ここでは、高い）ビットマップから上に配置する。そして、ひらがなのボタン（例えば、「かばんコーナー」）を選択した場合に、データ（HP）を構成するビットマップデータの属性値（ここでは、値段）が小さい（ここでは、低い）ビットマップから上に配置する。

【0042】

以上のような処理で、「鞆コーナー」ボタンを押下すれば、図5のようなHPをサーバ装置が構成し、情報処理装置に送信し、情報処理装置が図5のHPを出

力する。なお、図7に示すように、データを構成するサブデータがサーバ装置に格納されている。図7によれば、各サブデータは、画像と当該画像を識別する識別子（例えば、bitmap1）と属性値（金額）からなる。また、逆に、「かばんコーナー」ボタンを押下すれば、値段が安いカバンが上に配置されるようなHPをサーバ装置が構成し、情報処理装置に送信し、情報処理装置が図8のHPを出力する。以上、ユーザが押下するボタンにより、サーバ側でHPを構成するサブデータの配置を変更した。そして、情報処理装置側で、当該HPを出力した。

【0043】

次に、データ処理部の一定の処理がデータのフィルタリング処理である例について説明する。今、図9に示すような「〇〇動物園」のHPが情報処理装置に表示されている。つまり、「〇〇動物園」のHPは、左側に画像データがあり、右側に画像の動物名とその動物の出身地などの説明が通常では表示されている。そして、ユーザには、次のページにジャンプするためのボタンとして「next」ボタンと「つぎへ」ボタンが用意されている。かかる状態で、ユーザが「つぎへ」ボタンを押下すると、次のページの出力は図10のようになる。つまり、図10では、動物の説明が出力されていない。これは、「つぎへ」ボタンを選ぶ人は、小さな子供であることが多い、とサーバ装置が判断し、詳細な動物の説明を除いて出力するHPを構成したのである。なお、そのHPを構成する手順は、例えば、以下の通りである。今、図11に示すデータとデータ種の対応表が管理されている。そして、データ種でHP上のデータがグループ分けされとする。また、図12に示すようなデータ種とボタンの対応表がある。図12は、どのグループのデータが、どのボタンを押下した場合に、出力されるかを示した表である。画像のデータは、「next」ボタンまたは「つぎへ」ボタンを押下した時に出力されるが、説明のデータは、「next」ボタンを出力した場合にだけ出力される。以上のような技術でフィルタリングが可能である。但し、データのフィルタリングのアルゴリズムは他でも良い。以上、ユーザが押下するボタンにより、サーバ側でデータをフィルタリングして、HPを構成した。そして、情報処理装置側でHPを出力した。

【 0 0 4 4 】

次に、データ処理部の一定の処理がデータの翻訳である例について説明する。今、図 1 3 に示す「ショッピング HP」がサーバ装置に存在しており、情報処理装置が検索して、表示している、とする。かかる場合、ユーザは、欲しい商品をチェックして、合計を算出する場合に「¥」ボタンまたは「\$」ボタンを押下する。そして、「\$」ボタンを押下した場合は、合計を算出して、次の出力されるページは、図 1 4 のように英語の HP となる。つまり、「\$」ボタンが押下された旨の情報が、情報処理装置からサーバ装置に伝わる。サーバ装置は、ショッピング HP の日本語を英語に翻訳して、かつ合計額をドルの値段で算出する。そして、サーバ装置は、英語で表現された HP を構成して、情報処理装置に送信する。情報処理装置は、その HP を受信して、図 1 4 のような合計額をドルで算出した HP を出力する。以上、ユーザが押下するボタンにより、サーバ側で HP を翻訳処理して、情報処理装置側で、当該 HP を出力した。なお、本例は、日本語を英語に翻訳したが、その逆でも良いし、他の言語でも良い。

【 0 0 4 5 】

次に、データ処理部の一定の処理がデータまたはページの属性値の変更である例について説明する。今、図 1 5 に示すようにユーザ登録の HP がサーバ装置にあり、情報処理装置が取得して、表示している。当該 HP には、「登録」ボタンが 2 つある。一つは青色の「登録」ボタンで、他方は赤色の「登録」ボタンである。かかる HP にデータを入力したユーザが青色の「登録」ボタンを押下すれば、図 1 6 のような青色のページが次に出力される。そして、ユーザが赤色の「登録」ボタンを押下すれば、図 1 7 のような赤色のページが次に出力される。これは、サーバ装置が HP の背景色を赤に変えたり、青に変えたりすることにより可能となる。このように、ユーザが押下するボタンにより、サーバ側で HP の属性値（背景色や文字フォント、文字サイズなど種々の属性値）を変更したりする。そして、情報処理装置が当該 HP を出力する。なお、本例では、HP の属性値を変更したが、HP を構成するデータ（サブデータ）の属性値を変更しても良い。また、本例では、HP は背景色が異なるボタンを 2 つ用意したが、ボタンの中の文字の大きさやフォントが異なっているボタンを 2 以上用意しても良いし、ボタ

ンの形状が異なる 2 以上のボタンを用意しても良い。

【 0 0 4 6 】

次に、データ処理部の一定の処理がデータの仮名漢字変換処理である例について説明する。今、図 1 8 に示すようなショッピングの HP が、サーバ装置で管理されており、情報処理装置で表示している。そして、当該 HP には、「玩具コーナー」と「おもちゃコーナー」の 2 つの同じ HP に飛ぶためのボタンが配置されている。かかる状態において、ユーザが「玩具コーナー」ボタンを押下すると、図 1 9 のような漢字を用いた HP が出力される。サーバ装置には、もともと図 2 0 に示すようなひらがなの HP が格納されていた、とする。そして、ユーザが「玩具コーナー」ボタンを押下した旨を示す情報が、サーバ装置に送信され、当該サーバ装置は、ひらがなの HP のひらがなの文字列を漢字に変換する。そして、図 1 9 の HP を構成する。情報処理装置は、この構成された HP を取得し、出力する。なお、漢字変換の処理は、既存技術であるので説明を省略する。また、本例では、ひらがなの HP を漢字に変換したが、漢字の HP (図 1 9 参照) がもともと存在し、当該漢字の HP を「おもちゃコーナー」ボタンを押下することにより、図 2 0 のようなひらがなの HP に変換しても良い。

【 0 0 4 7 】

次に、データ処理部の一定の処理が HP (データ) の選択処理である例について説明する。今、図 1 8 に示す HP が情報処理装置で表示されている。そして、図 1 9、図 2 0 の HP がサーバ装置に格納しており、ユーザが「玩具コーナー」ボタンを押下すれば図 1 9 の HP が選択され、「おもちゃコーナー」ボタンを押下すれば図 2 0 の HP が選択される。この選択は、サーバ装置が行う。

【 0 0 4 8 】

以上、本実施の形態によれば、同じ機能を実現し、かつ属性値が異なるボタンが 2 以上表示されている入力画面上の当該 2 以上のボタンのうち、一のボタンの選択指示を受け付ける選択指示受付ステップと、選択指示受付ステップで受け付けた選択指示に基づいて、一のボタンの選択指示に関する情報である選択指示情報を記録する選択指示情報記録ステップと、選択指示情報記録ステップで記録した選択指示情報に基づいて、出力するデータを変えて出力するデータ出力ステッ

プを具備するデータ出力方法を実現し得る。なお、上記の記録とは、キャッシュなどの一時メモリへの一時的な記録も含む。この記録の意味は、本明細書の他の記載においても共通する。従って、同一の機能または同一の意味を持つボタン（ホットスポットを含む）であって、属性値（色、形状、出力文字、位置、出力文字のフォント、出力文字のサイズ、出力文字の色など）が異なるボタンを複数用意し、押下されたボタンに応じたデータの提示を行うことができる。そして、ユーザの嗜好やユーザの属性（日本人、アメリカ人など）がデータ出力に自然に生かすことができる。また、選択指示情報をたとえデータ出力に生かさなくても、選択指示情報がサーバ装置に送信されることにより、ユーザの嗜好が自然に分析可能となる。

【 0 0 4 9 】

なお、本実施の形態において、同一の機能または同一の意味を持つボタンが2つの場合を中心に説明したが、3以上存在しても良い。かかる場合、それぞれのボタンに対応するデータの出力が可能になり、さらにきめ細かいデータの出力が可能となる。なお、このことは、本明細書における他の実施の形態においても該当する。

【 0 0 5 0 】

また、本実施の形態における処理は、ソフトウェアで実現しても良い。そして、このソフトウェアをソフトウェアダウンロード等により配布しても良い。また、このソフトウェアをCD-ROMなどの記録媒体に記録して流布しても良い。なお、このことは、本明細書における他の実施の形態においても該当する。

【 0 0 5 1 】

また、本実施の形態において、データ処理部が行う処理は、同時には一つであったが、同時に2以上の処理（例えば、漢字変換処理とフィルタリング処理）を同時に行っても良い。

【 0 0 5 2 】

また、本実施の形態において、サーバ・クライアントの形態における処理について述べたが、スタンドアロンでも良い。つまり、同じ機能を実現し、かつ属性値が異なるボタンが2以上出力されている入力画面上の当該2以上のボタンのう

ち、一のボタンの選択指示を受け付ける選択指示受付ステップと、選択指示受付ステップで受け付けた選択指示に基づいて、一のボタンの選択指示に関する情報である選択指示情報を記録する選択指示情報記録ステップと、選択指示情報記録ステップで記録した選択指示情報に基づいて、画面を変えて出力するデータ出力ステップを具備するデータ出力方法を実現する情報処理装置が、スタンドアロンで存在することでも良い。なお、サーバ・クライアントの形態で処理をせずに、スタンドアロンの形態で処理をするのは、他の実施の形態においても可能である。

【 0 0 5 3 】

さらに、本実施の形態において、送信指示命令とともに、ユーザ（ユーザが使用している情報処理装置を含む）を識別する情報である識別子が情報処理装置からサーバ装置に送られても良い。以下の実施の形態においても同様である。

【 0 0 5 4 】

（実施の形態 2）

図 2 1 は、本発明におけるサーバ装置 2 1 1 と情報処理装置 1 2 を有する情報処理システムのブロック図である。

【 0 0 5 5 】

サーバ装置 2 1 1 は、選択指示情報格納部 1 1 0 1、データ格納部 1 1 0 2、送信指示命令受信部 1 1 0 3、データ取得部 1 1 0 4、データ処理部 2 1 1 0 2、データ送信部 1 1 0 6、選択指示情報受信部 1 1 0 7、選択指示情報蓄積部 2 1 1 0 1 を有する。

【 0 0 5 6 】

選択指示情報蓄積部 2 1 1 0 1 は、1 以上の選択指示情報を選択指示情報格納部 1 1 0 1 に蓄積する。選択指示情報蓄積部 2 1 1 0 1 は、通常、ソフトウェアで実現し得るが、専用回路（ハードウェア）で実現しても良い。

【 0 0 5 7 】

データ処理部 2 1 1 0 2 は、蓄積された 1 以上の選択指示情報に基づいて、データ取得部 1 1 0 4 で取得したデータに対して一定の処理を行う。一定の処理とは、データをフィルタリングする処理や、データを構成するサブデータを並び替

えて、見せ方の異なるデータを構築する処理や、データ中の文章を翻訳する処理や、データ中の漢字をひらがなに変換する仮名変換処理や、データ中のひらがなを漢字に変換する処理や、出力する対象の候補となるデータが2以上存在する場合に一つのデータを選択する処理など種々考えられる。データ処理部21102は、通常、ソフトウェアで実現し得るが、専用回路（ハードウェア）で実現しても良い。

【0058】

以下、本実施の形態におけるサーバ装置211の動作について、図22のフローチャートを参照して説明する。

【0059】

（ステップS2201）選択指示情報受信部1107は、1以上の選択指示情報を受信したか否か判断する。受信すればステップS2202に行き、受信しなければステップS2204に飛ぶ。

【0060】

（ステップS2202）選択指示情報蓄積部21101は、1以上の選択指示情報を取得する。

【0061】

（ステップS2203）選択指示情報蓄積部21101は、ステップS2202で取得した1以上の選択指示情報を選択指示情報格納部1101に格納する。

【0062】

（ステップS2204）送信指示命令受信部1103は、送信指示命令を受信したか否か判断する。受信すればステップS2205に行き、受信しなければステップS2201に戻る。

【0063】

（ステップS2205）データ取得部1104は、送信指示命令受信部1103が受け付けた送信指示命令が有するデータ識別子で識別されるデータをデータ格納部1102から取得する。

【0064】

（ステップS2206）データ処理部1105は、ステップS2205で取得

したデータに対して、選択指示情報格納部 1 1 0 1 に格納されている 1 以上の選択指示情報に基づいて、一定の処理を行う。一定の処理とは、上述したようなフィルタリング処理や翻訳処理や仮名漢字変換処理やサブデータの並び替え処理など種々考えられる。

【 0 0 6 5 】

(ステップ S 2 2 0 7) データ送信部 1 1 0 6 は、ステップ S 2 2 0 6 で処理したデータを情報処理装置 1 2 に送信する。

【 0 0 6 6 】

以下、本実施の形態における情報処理システムの具体的な例を説明する。今、情報処理システムは、インターネット上のサーバ装置と情報処理装置（クライアント）からなるとする。そして、サーバ装置は、データとして H P を大量に格納している。

【 0 0 6 7 】

そして、情報処理端末のユーザが、同じ機能を実現し、かつ属性値が異なるボタンが 2 以上出力されている H P に対して、今まで以下の動作を行ったとする。図 4 の H P を見て、ひらがなの「かばんコーナー」ボタンでなく漢字の「鞆コーナー」ボタンを押下した。また、そのユーザは、図 9 のひらがなの「つぎへ」ボタンではなく英語の「next」ボタンを押下した。さらに、そのユーザは、図 1 3 の米国ドルの「\$」ボタンではなく日本円の「¥」ボタンを押下した。また、そのユーザは、図 1 5 の赤色の「登録」ボタンではなく青色の「登録」ボタンを押下した。以上のような状況において、選択指示情報が順次、選択指示情報格納部に蓄積される。選択指示情報は、選択指示情報蓄積部 2 1 1 0 1 によって蓄積される。選択指示情報とは、今、ボタンの属性値であるとする。具体的には、「鞆コーナー」ボタンは「漢字ボタン」、「next」ボタンは「英語ボタン」、「¥」ボタンは「¥ボタン」、青色の「登録」ボタンは「青色ボタン」というボタンの属性値が、選択指示情報である。従って、図 2 3 に示すような選択指示情報の履歴が選択指示情報格納部に蓄積される。

【 0 0 6 8 】

そして、かかる場合、情報処理装置からデータの送信要求があったとき、サー

サーバ装置は送信要求があったデータをデータ格納部から検索し、当該データに対して、4つの選択指示情報を用いてデータ変換（データ処理）する。例えば、図24のような子供向けにひらがなで書かれた天気予報のHPがデータ格納部に格納されている。そして、図23の選択指示情報が格納されている場合、例えば、大人で、かつ日本人で、かつ男子（青色が好きな人）向けのHPに変換する。従って、サーバ装置は、図24のHPを図25のようなHPに変換する。変換は、仮名を漢字にする。また、画像をフィルタリングによって削除（見せないように）する。さらに、HPの背景色を青色にする。なお、他のHPの変換アルゴリズムを用いても良い。

【0069】

以上、本実施の形態によれば、同一の機能または同一の意味を持つボタン（ホットスポットを含む）であって、属性値（色、形状、出力文字、位置、出力文字のフォント、出力文字のサイズ、出力文字の色など）が異なるボタンを複数用意し、押下されたボタンに応じたデータの提示を行うことができる。しかも、複数のボタン押下の動作を反映させたデータの提示を行うことができる。従って、ユーザの嗜好やユーザの属性（日本人、アメリカ人など）がデータ出力に自然に生かすことができる。

【0070】

なお、本実施の形態において、選択指示情報や送信指示命令とともに、ユーザ（ユーザが使用している情報処理装置を含む）を識別する情報である識別子が情報処理装置からサーバ装置に送られても良い。かかる場合、ユーザ毎の選択指示情報の履歴が選択指示情報格納部で管理されることとなる。そして、ユーザがデータの送信指示命令をサーバ装置に送信したときに、当該送信指示命令とともに送信された識別子をキーとして選択指示情報が検索され、データ処理に利用される、こととなる。

【0071】

（実施の形態3）

図26は、本発明におけるサーバ装置261と情報処理装置262を有する情報処理システムのブロック図である。

【0072】

サーバ装置261は、データ格納部1102、送信指示命令受信部1103、データ取得部1104、データ送信部1106を有する。

【0073】

情報処理装置12は、選択指示情報入力受付部1201、選択指示情報取得部26201、送信指示命令入力受付部1202、送信指示命令送信部1204、データ受信部1205、データ出力指示部1206、データ出力部1207、データ処理部26202を有する。

【0074】

選択指示情報取得部26201は、選択指示情報入力受付部1201が受け付けた選択指示情報を取得して保持しておく。この格納場所は、キャッシュなどの一時メモリでも良いし、ハードディスクなどの不揮発性メモリでも良い。選択指示情報取得部26201は、通常、ソフトウェアで実現され得るが、専用回路（ハードウェア）で実現されても良い。なお、選択指示情報取得部26201は、キャッシュやハードディスクなどの記録媒体を含んでも良いし、含まなくても良い。

【0075】

データ処理部26202は、選択指示情報取得部26201が取得した1以上の選択指示情報に基づいて、データ受信部1205が受信したデータに対して一定の処理を行う。一定の処理とは、データをフィルタリングする処理や、データを構成するサブデータを並び替えて、見せ方の異なるデータを構築する処理や、データ中の文章を翻訳する処理や、データ中の漢字をひらがなに変換する仮名変換処理や、データ中のひらがなを漢字に変換する処理や、出力する対象の候補となるデータが2以上存在する場合に一つのデータを選択する処理など種々考えられる。

【0076】

以下、本実施の形態におけるサーバ装置261の動作について、図27のフローチャートを参照して説明する。

【0077】

(ステップ S 2 7 0 1) 送信指示命令受信部 1 1 0 3 は、送信指示命令を受信したか否か判断する。受信すればステップ S 2 7 0 2 に行き、受信しなければステップ S 2 7 0 1 に戻る。

【 0 0 7 8 】

(ステップ S 2 7 0 2) データ取得部 1 1 0 4 は、送信指示命令受信部 1 1 0 3 が受け付けた送信指示命令が有するデータ識別子で識別されるデータをデータ格納部 1 1 0 2 から取得する。

【 0 0 7 9 】

(ステップ S 2 7 0 3) データ送信部 1 1 0 6 は、ステップ S 2 7 0 2 で取得したデータを情報処理装置 1 2 に送信する。

【 0 0 8 0 】

以下、本実施の形態における情報処理装置 2 6 2 の動作について、図 2 8 のフローチャートを参照して説明する。

【 0 0 8 1 】

(ステップ S 2 8 0 1) 選択指示情報入力受付部 1 2 0 1 は、1 以上の選択指示情報を受け付けたか否か判断する。選択指示情報を受け付ければステップ S 2 8 0 2 に行き、選択指示情報を受け付けなければステップ S 2 8 0 3 に飛ぶ。

【 0 0 8 2 】

(ステップ S 2 8 0 2) 選択指示情報取得部 2 6 2 0 1 は、1 以上の選択指示情報を取得する。

【 0 0 8 3 】

(ステップ S 2 8 0 3) 送信指示命令入力受付部 1 2 0 2 は、送信指示命令の入力を受け付けたか否かを判断する。送信指示命令の入力を受け付ければステップ S 2 8 0 4 に行き、送信指示命令の入力を受け付けなければステップ S 2 8 0 1 に戻る。

【 0 0 8 4 】

(ステップ S 2 8 0 4) 送信指示命令送信部 1 2 0 4 は送信指示命令を送信する。

【 0 0 8 5 】

(ステップ S 2805) データ受信部 1205 は、サーバ装置 261 からデータを受信したか否かを判断する。データを受信すればステップ S 2806 に行き、データを受信しなければステップ S 2805 に戻る。

【0086】

(ステップ S 2806) データ処理部 26202 は、ステップ S 2805 で受信したデータに対して、ステップ S 2802 で取得した選択指示情報に基づいた一定の処理を行う。一定の処理とは、上述したようなフィルタリング処理や翻訳処理や仮名漢字変換処理やサブデータの並び替え処理など種々考えられる。

【0087】

(ステップ S 2807) データ出力指示部 1206 は、ステップ S 2806 で処理したデータの出力指示を行う。

【0088】

(ステップ S 2808) データ出力部 1207 は、データを出力する。

【0089】

以下、本実施の形態における情報処理システムの具体的な例を説明する。今、情報処理システムは、インターネット上のサーバ装置と情報処理装置（クライアント）からなるとする。そして、サーバ装置は、データとしてホームページ（以下、適宜「HP」と言う。）を大量に格納している。

【0090】

かかる状況において、データ処理部の一定の処理がデータの並び替えである例について説明する。

【0091】

今、情報処理装置に、図4に示すHPが表示されている。ここで、「鞆コーナー」と「かばんコーナー」は同じHPに飛ぶボタン（ホットスポットとも言う。）である。ここで、「鞆コーナー」を選択した場合には、サーバ装置のデータ処理部は、大人がページ選択したものと考えて、大人が買いそうな高額のカバンから順にページの上に配置されるようにHTML等のページを記述しているスクリプトの記載を変更する。このHP中のデータの並び方の変更方法は以下の例がある。

【0092】

例えば、図6のようなHPの記述がある。これは、ビットマップと購入ボタンを横並びで1組とし、その組を縦並びで並べる、という意味の記載である、とする。そして、漢字のボタン（例えば、「鞆コーナー」）を選択した場合に、データ（HP）を構成するビットマップデータの属性値（ここでは、値段）が大きい（ここでは、高い）ビットマップから上に配置する。そして、ひらがなのボタン（例えば、「かばんコーナー」）を選択した場合に、データ（HP）を構成するビットマップデータの属性値（ここでは、値段）が小さい（ここでは、低い）ビットマップから上に配置する。

【0093】

以上のような処理で、「かばんコーナー」ボタンを押下すれば、値段が安いボタンが上に配置されるようなHPを情報処理装置が構成し、図8のHPを出力する。以上、ユーザが押下するボタンにより、情報処理装置（クライアント）側でHPを構成するサブデータの配置を変更して出力した。

【0094】

また、データ処理とは、例えば、実施の形態1で述べたのと同様に、翻訳処理や仮名漢字変換処理やフィルタリング処理などがある。

【0095】

以上、本実施の形態によれば、同一の機能または同一の意味を持つボタン（ホットスポットを含む）であって、属性値（色、形状、出力文字、位置、出力文字のフォント、出力文字のサイズ、出力文字の色など）が異なるボタンを複数用意し、押下されたボタンに応じたデータの提示を行うことができる。従って、ユーザの嗜好やユーザの属性（日本人、アメリカ人など）がデータ出力に自然に生かすことができる。

【0096】

（実施の形態4）

図29は、本発明におけるサーバ装置261と情報処理装置292を有する情報処理システムのブロック図である。

【0097】

情報処理装置 2 9 2 は、選択指示情報入力受付部 1 2 0 1、選択指示情報格納部 2 9 0 1、選択指示情報蓄積部 2 9 0 2、送信指示命令入力受付部 1 2 0 2、送信指示命令送信部 1 2 0 4、データ受信部 1 2 0 5、データ処理部 2 9 2 0 3、データ出力指示部 1 2 0 6、データ出力部 1 2 0 7 を有する。

【 0 0 9 8 】

選択指示情報格納部 2 9 0 1 は、1 以上の選択指示情報を格納している。選択指示情報格納部 2 9 0 1 は、ハードディスク等の不揮発性の記録媒体でも良いし、揮発性の記録媒体でも良い。

【 0 0 9 9 】

選択指示情報蓄積部 2 9 0 2 は、選択指示情報入力受付部 1 2 0 1 が受け付けた 1 以上の選択指示情報を選択指示情報格納部 2 9 0 1 に蓄積する。選択指示情報蓄積部 2 9 0 2 は、通常、ソフトウェアで実現し得るが、専用回路（ハードウェア）で実現しても良い。

【 0 1 0 0 】

データ処理部 2 9 2 0 3 は、選択指示情報格納部 2 9 0 1 が格納している 1 以上の選択指示情報に基づいてデータ受信部 1 2 0 5 が受信したデータに対して一定の処理を行う。一定の処理とは、データをフィルタリングする処理や、データを構成するサブデータを並び替えて、見せ方の異なるデータを構築する処理や、データ中の文章を翻訳する処理や、データ中の漢字をひらがなに変換する仮名変換処理や、データ中のひらがなを漢字に変換する処理や、出力する対象の候補となるデータが 2 以上存在する場合に一つのデータを選択する処理など種々考えられる。データ処理部 2 9 2 0 3 は、通常、ソフトウェアで実現し得るが、専用回路（ハードウェア）で実現しても良い。

【 0 1 0 1 】

以下、本実施の形態における情報処理装置 2 9 2 の動作について、図 3 0 のフローチャートを参照して説明する。

【 0 1 0 2 】

（ステップ S 3 0 0 1）選択指示情報入力受付部 1 2 0 1 は、1 以上の選択指示情報を受け付けたか否か判断する。選択指示情報を受け付ければステップ S 3

0 0 2 に行き、選択指示情報を受け付けなければステップ S 3 0 0 3 に飛ぶ。

【 0 1 0 3 】

(ステップ S 3 0 0 2) 選択指示情報蓄積部 2 9 2 0 2 は、1 以上の選択指示情報を取得し、選択指示情報格納部 2 9 2 0 1 に当該選択指示情報を蓄積する。

【 0 1 0 4 】

(ステップ S 3 0 0 3) 送信指示命令入力受付部 1 2 0 2 は、送信指示命令の入力を受け付けたか否かを判断する。送信指示命令の入力を受け付ければステップ S 3 0 0 4 に行き、送信指示命令の入力を受け付けなければステップ S 3 0 0 1 に戻る。

【 0 1 0 5 】

(ステップ S 3 0 0 4) 送信指示命令送信部 1 2 0 4 は送信指示命令を送信する。

【 0 1 0 6 】

(ステップ S 3 0 0 5) データ受信部 1 2 0 5 は、サーバ装置 2 6 1 からデータを受信したか否かを判断する。データを受信すればステップ S 3 0 0 6 に行き、データを受信しなければステップ S 3 0 0 5 に戻る。

【 0 1 0 7 】

(ステップ S 3 0 0 6) データ処理部 2 9 2 0 3 は、ステップ S 3 0 0 5 で受信したデータに対して、選択指示情報格納部 2 9 2 0 1 に格納されている 1 以上の選択指示情報に基づいた一定の処理を行う。一定の処理とは、上述したようなフィルタリング処理や翻訳処理や仮名漢字変換処理やサブデータの並び替え処理など種々考えられる。

【 0 1 0 8 】

(ステップ S 3 0 0 7) データ出力指示部 1 2 0 6 は、ステップ S 3 0 0 6 で処理したデータの出力指示を行う。

【 0 1 0 9 】

(ステップ S 3 0 0 8) データ出力部 1 2 0 7 は、データを出力する。

【 0 1 1 0 】

以下、本実施の形態における情報処理システムの具体的な例を説明する。今、

情報処理システムは、インターネット上のサーバ装置と情報処理装置（クライアント）からなるとする。そして、サーバ装置は、データとしてホームページ（以下、適宜「HP」と言う。）を大量に格納している。

【0111】

そして、情報処理端末のユーザが、同じ機能を実現し、かつ属性値が異なるボタンが2以上出力されているHPに対して、今まで以下の動作を行ったとする。図4のHPを見て、ひらがなの「かばんコーナー」ボタンでなく漢字の「鞆コーナー」ボタンを押下した。また、そのユーザは、図9のひらがなの「つぎへ」ボタンではなく英語の「next」ボタンを押下した。さらに、そのユーザは、図13の米国ドルの「\$」ボタンではなく日本円の「¥」ボタンを押下した。また、そのユーザは、図15の赤色の「登録」ボタンではなく青色の「登録」ボタンを押下した。以上のような状況において、選択指示情報が順次、選択指示情報格納部に蓄積される。選択指示情報は、選択指示情報蓄積部29202によって蓄積される。選択指示情報とは、今、ボタンの属性値であるとする。具体的には、「鞆コーナー」ボタンは「漢字ボタン」、「next」ボタンは「英語ボタン」、「¥」ボタンは「¥ボタン」、青色の「登録」ボタンは「青色ボタン」というボタンの属性値が、選択指示情報である。従って、図23に示すような選択指示情報の履歴が選択指示情報格納部に蓄積される。

【0112】

そして、かかる場合、情報処理装置からデータの送信要求があったとき、サーバ装置は送信要求があったデータをデータ格納部から検索し、情報処理装置に送信する。そして、当該データを受信した情報処理装置は、当該データに対して、4つの選択指示情報を用いてデータ変換（データ処理）する。例えば、図24のような子供向けにひらがなで書かれた天気予報のHPがデータ格納部に格納されている。そして、図23の選択指示情報が格納されている場合、例えば、大人で、かつ日本人で、かつ男子（青色が好きな人）向けのHPに変換する。従って、サーバ装置は、図24のHPを図25のようなHPに変換する。変換は、仮名を漢字にする。また、画像をフィルタリングによって削除（見せないように）する。さらに、HPの背景色を青色にする。なお、他のHPの変換アルゴリズムを用

いても良い。

【0113】

以上、本実施の形態によれば、同一の機能または同一の意味を持つボタン（ホットスポットを含む）であって、属性値（色、形状、出力文字、位置、出力文字のフォント、出力文字のサイズ、出力文字の色など）が異なるボタンを複数用意し、押下されたボタンに応じたデータの提示を行うことができる。しかも、複数のボタン押下の動作を反映させたデータの提示を行うことができる。従って、ユーザの嗜好やユーザの属性（日本人、アメリカ人など）がデータ出力に自然に生かすことができる。

【0114】

【発明の効果】

以上のように、本発明によれば、個人属性を入力せずに、自然に、その個人にあったデータの出力が可能になる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

実施の形態1における情報処理システムのブロック図

【図2】

実施の形態1におけるサーバ装置の動作について説明するフローチャート

【図3】

実施の形態1における情報処理装置の動作について説明するフローチャート

【図4】

実施の形態1におけるホームページの例を示す図

【図5】

実施の形態1におけるホームページの例を示す図

【図6】

実施の形態1におけるホームページのスク립ト記述の例を示す図

【図7】

実施の形態1におけるホームページを構成するデータの例を示す図

【図8】

実施の形態 1 におけるホームページの例を示す図

【図 9】

実施の形態 1 におけるホームページの例を示す図

【図 1 0】

実施の形態 1 におけるホームページの例を示す図

【図 1 1】

実施の形態 1 におけるデータとデータ種の対応表を示す図

【図 1 2】

実施の形態 1 におけるデータ種とボタンの対応表を示す図

【図 1 3】

実施の形態 1 におけるホームページの例を示す図

【図 1 4】

実施の形態 1 におけるホームページの例を示す図

【図 1 5】

実施の形態 1 におけるホームページの例を示す図

【図 1 6】

実施の形態 1 におけるホームページの例を示す図

【図 1 7】

実施の形態 1 におけるホームページの例を示す図

【図 1 8】

実施の形態 1 におけるホームページの例を示す図

【図 1 9】

実施の形態 1 におけるホームページの例を示す図

【図 2 0】

実施の形態 1 におけるホームページの例を示す図

【図 2 1】

実施の形態 2 における情報処理システムのブロック図

【図 2 2】

実施の形態 2 におけるサーバ装置の動作について説明するフローチャート

【図 2 3】

実施の形態 2 における選択指示情報の履歴の例を示す図

【図 2 4】

実施の形態 2 におけるホームページの例を示す図

【図 2 5】

実施の形態 2 におけるホームページの例を示す図

【図 2 6】

実施の形態 3 における情報処理システムのブロック図

【図 2 7】

実施の形態 3 におけるサーバ装置の動作について説明するフローチャート

【図 2 8】

実施の形態 3 における情報処理装置の動作について説明するフローチャート

【図 2 9】

実施の形態 4 における情報処理システムのブロック図

【図 3 0】

実施の形態 4 における情報処理装置の動作について説明するフローチャート

【符号の説明】

1 1、2 1 1、2 6 1 サーバ装置

1 2、2 6 2、2 9 2 情報処理装置

1 1 0 1、2 9 0 1、2 9 2 0 1 選択指示情報格納部

1 1 0 2 データ格納部

1 1 0 3 送信指示命令受付部

1 1 0 4 データ取得部

1 1 0 5、2 1 1 0 2、2 6 2 0 2、2 9 2 0 3 データ処理部

1 1 0 6 データ送信部

1 1 0 7 選択指示情報受信部

1 1 0 8、2 9 0 2、2 1 1 0 1、2 9 2 0 2 選択指示情報蓄積部

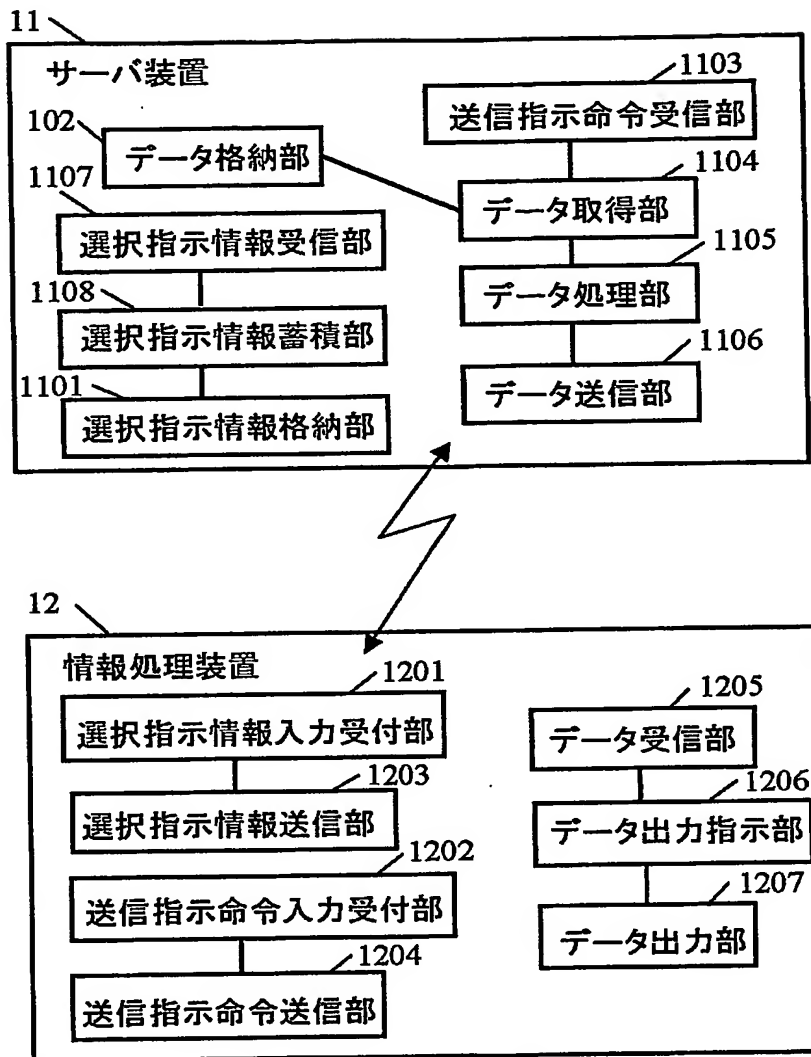
1 2 0 1 選択指示情報入力受付部

1 2 0 2 送信指示命令入力受付部

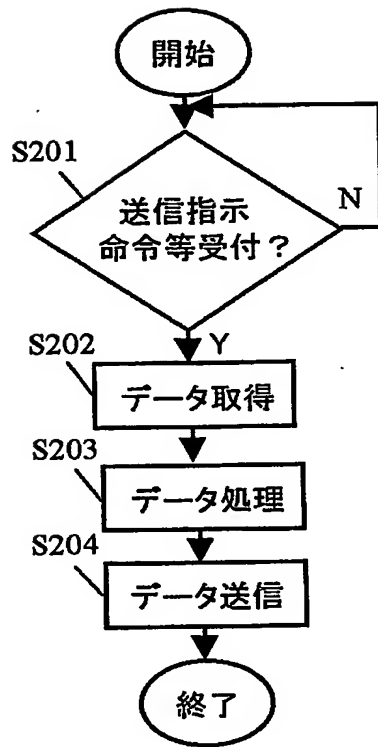
- 1 2 0 3 選択指示情報送信部
- 1 2 0 4 送信指示命令送信部
- 1 2 0 5 データ受信部
- 1 2 0 6 データ出力指示部
- 1 2 0 7 データ出力部
- 2 6 2 0 1 選択指示情報取得部

【書類名】 図面

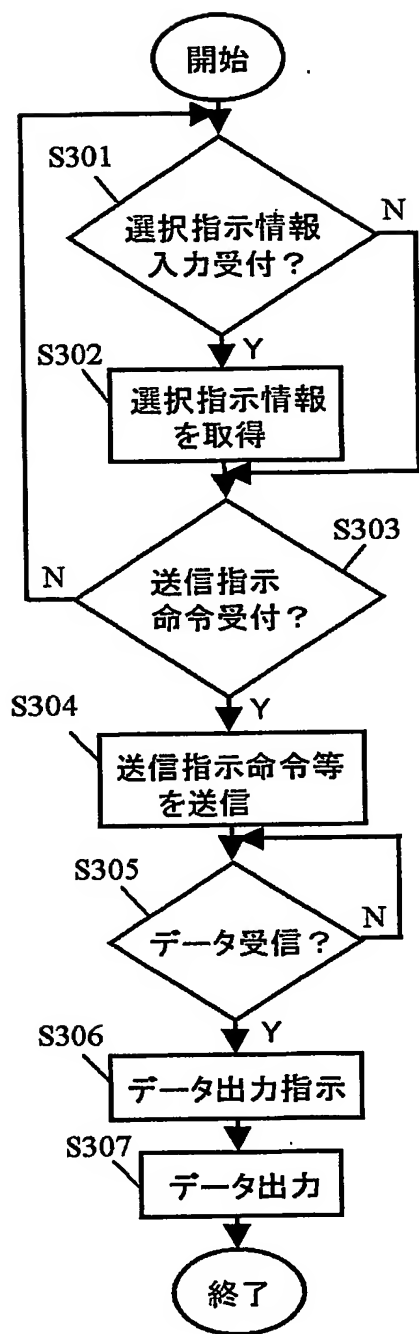
【図1】



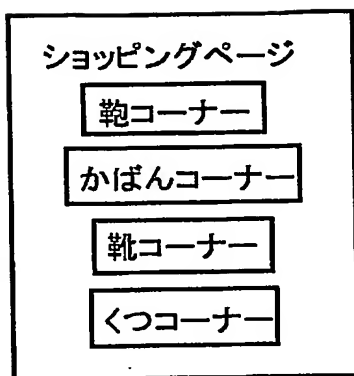
【図 2】



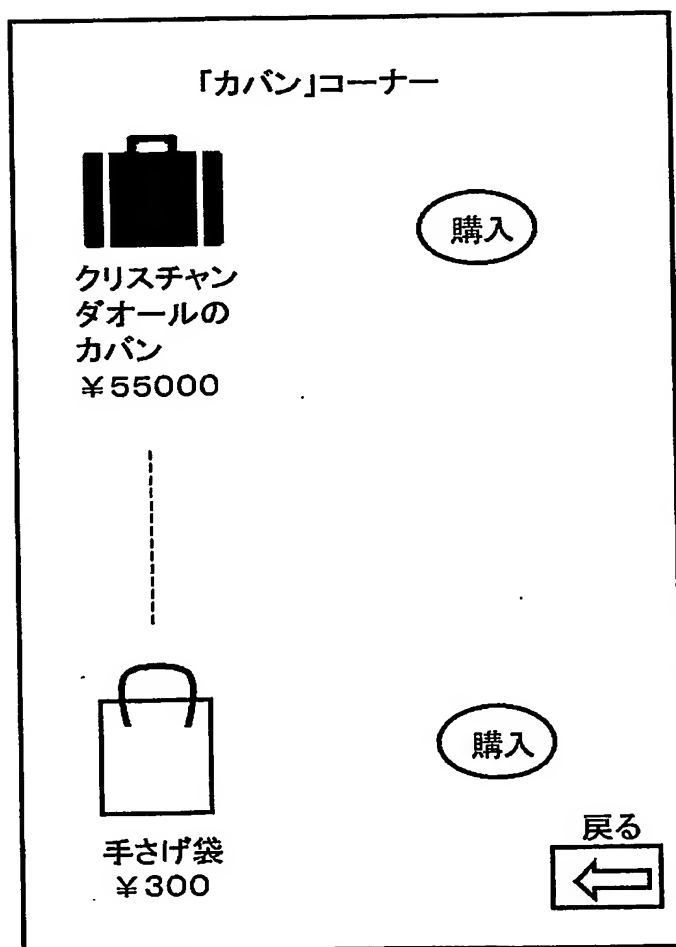
【図 3】



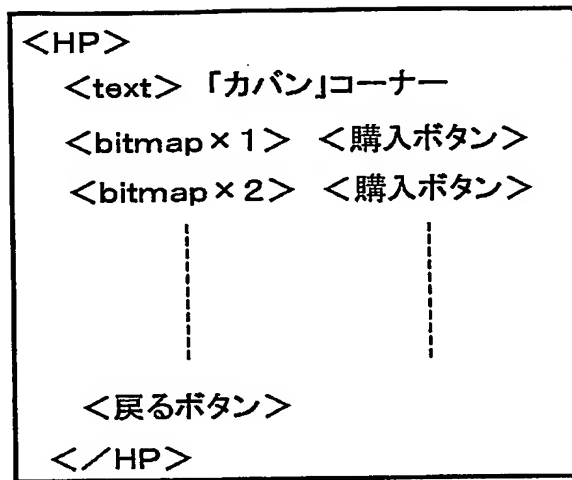
【図4】



【図5】

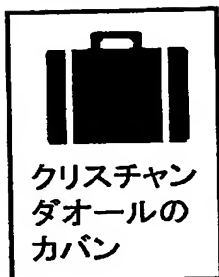


【図 6】



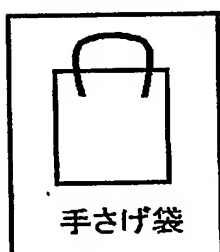
【図 7】

bitmap 1



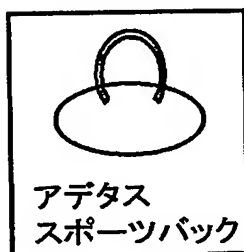
<属性> ¥55,000

bitmap 3



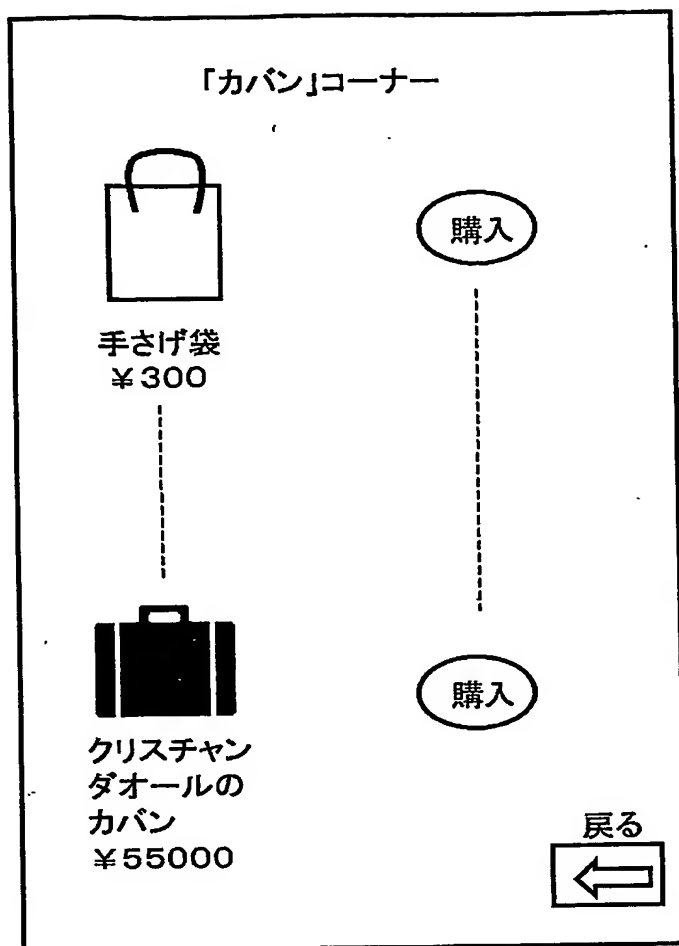
<属性> ¥300

bitmap n




<属性> ¥5,000

【図8】




【図9】

〇〇動物園



パンダ
このパンダは

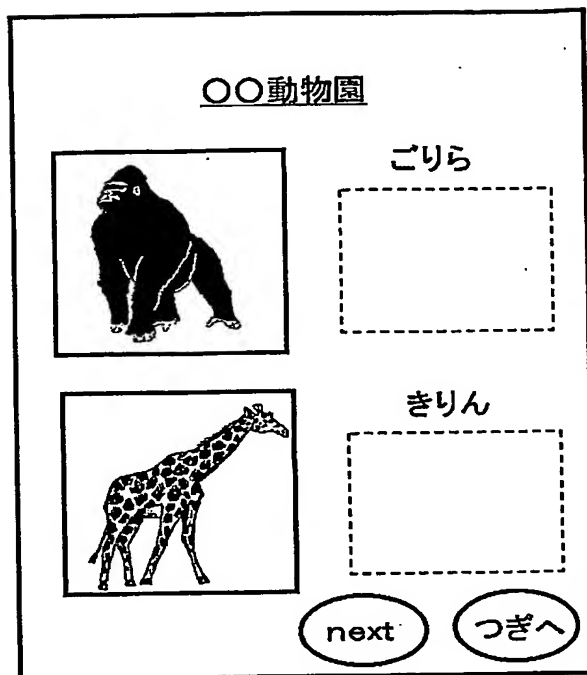


リス
リスの生まれた
国 -----


next

つぎへ

【図10】



【図11】

データ	データ種
	画像
ごりら	タイトル
ごりらは、アフリカの---で生息し-----	説明
⋮	⋮

【図 12】

データ種	ボタン
画像	「next」「つぎへ」
タイトル	「next」「つぎへ」
説明	「next」

【図 13】

ショッピングHP

チェック	商品
	カバン
✓	サイフ
	ノート
	時計

合計 ¥ ~~¥~~

【図 14】

shopping HP

check	goods
	baggage
✓	wallet
	notebook
	watch

sum

\$100

【図 15】

氏名

年令

才

住所

趣味

登録

↑

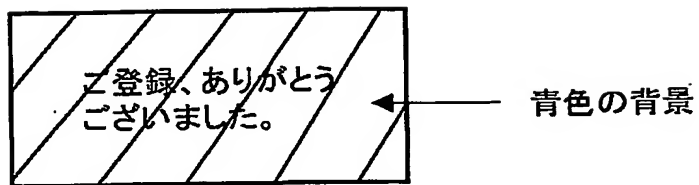
青色

登録

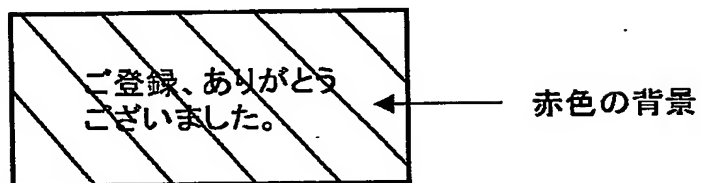
↑

赤色

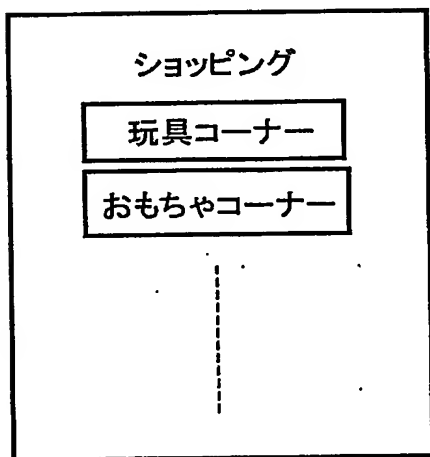
【図 16】



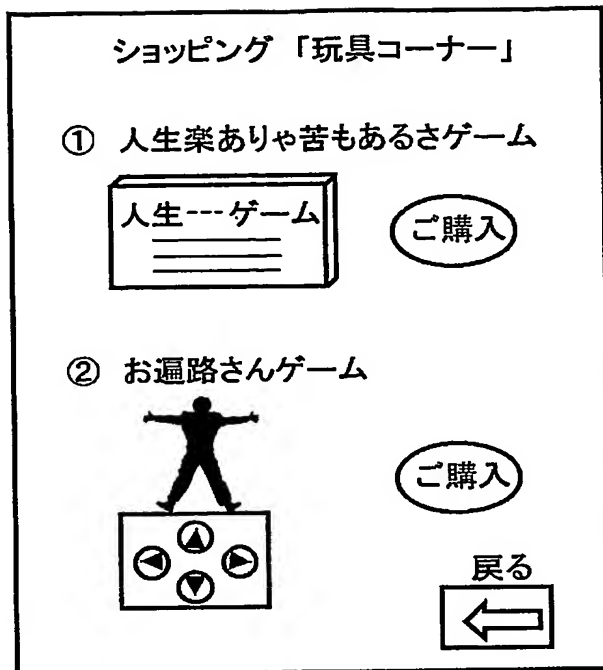
【図 17】



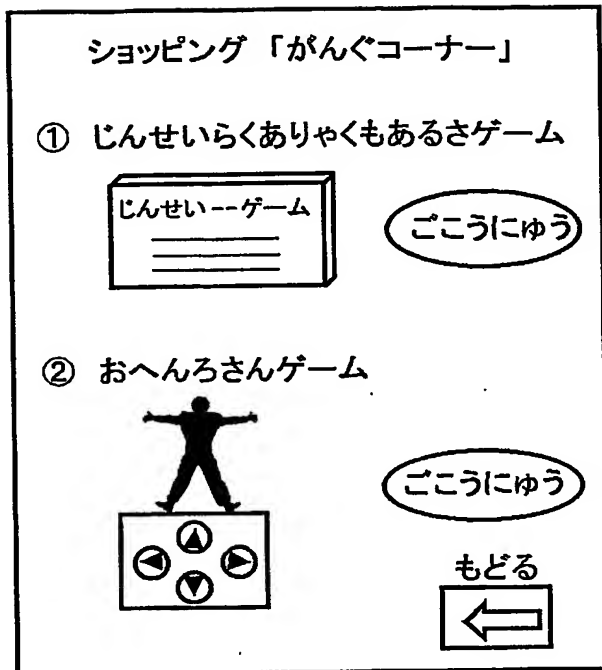
【図 18】



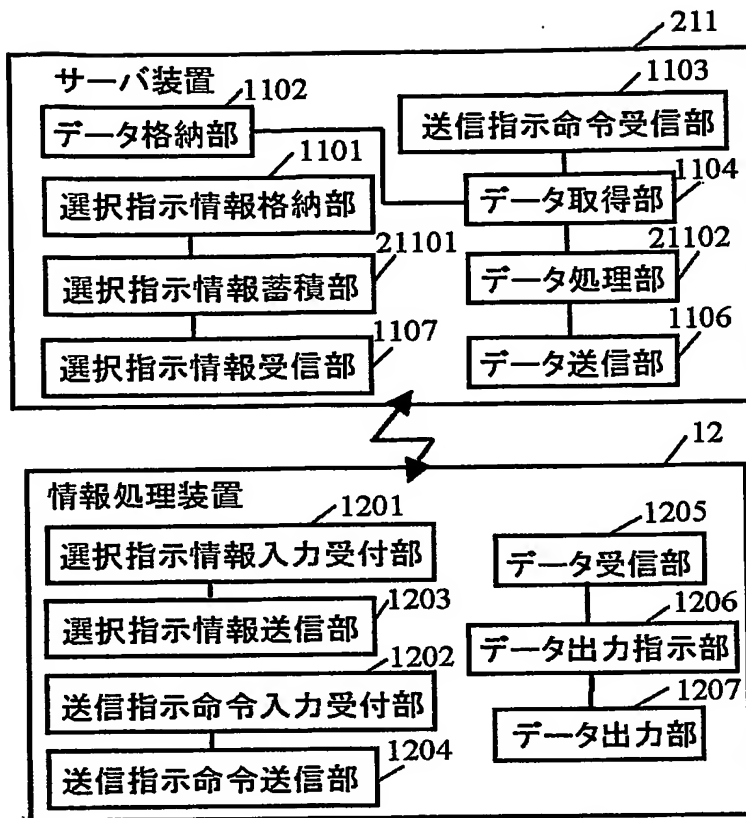
【図 19】



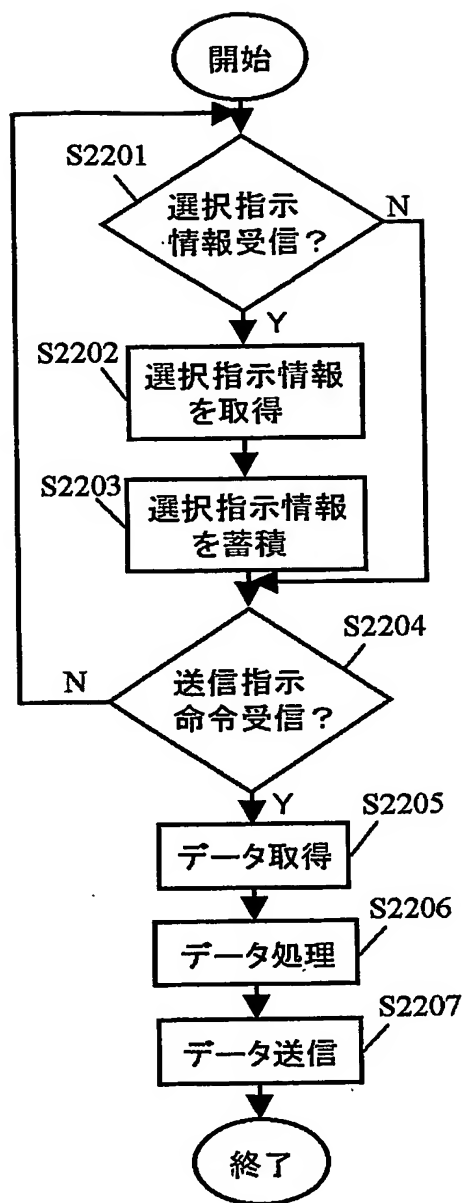
【図 20】



【図 21】



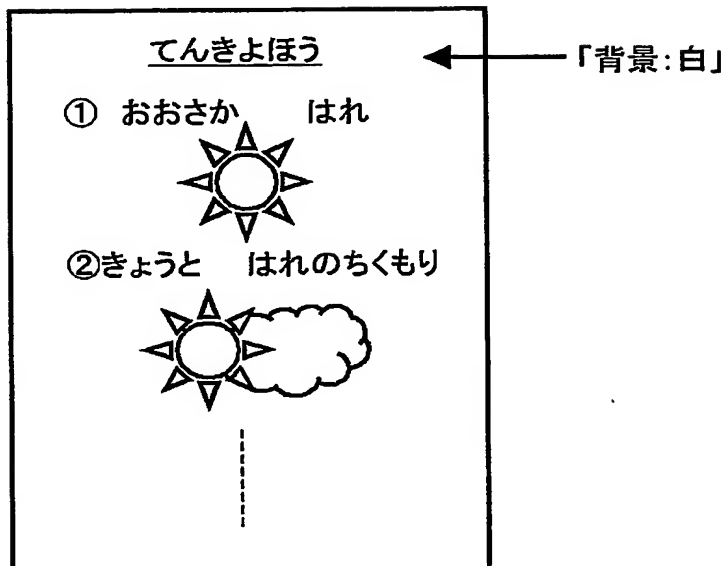
【図 2 2】



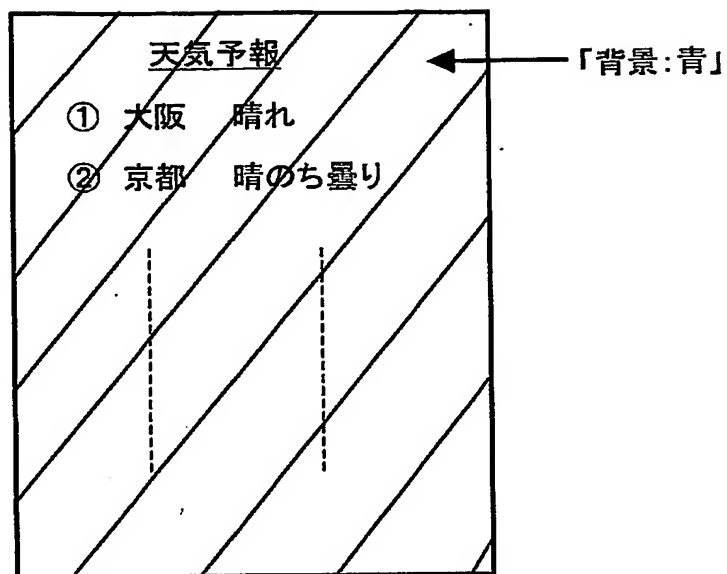
【図 2 3】

漢字ボタン
英語ボタン
¥ボタン
青色ボタン

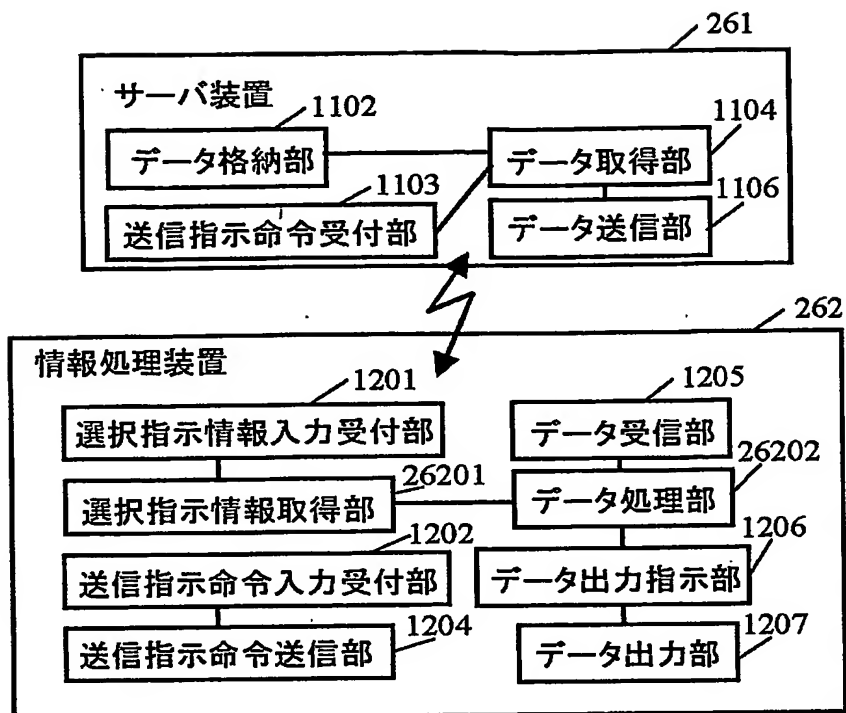
【図 2 4】



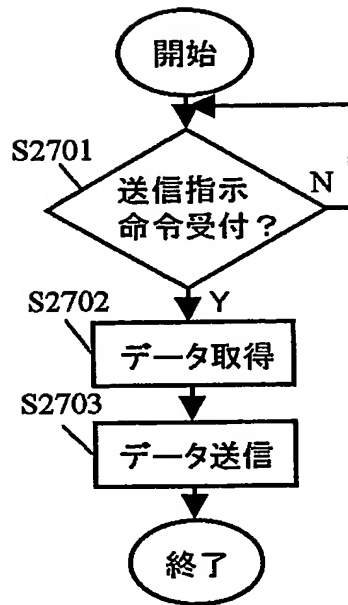
【図25】



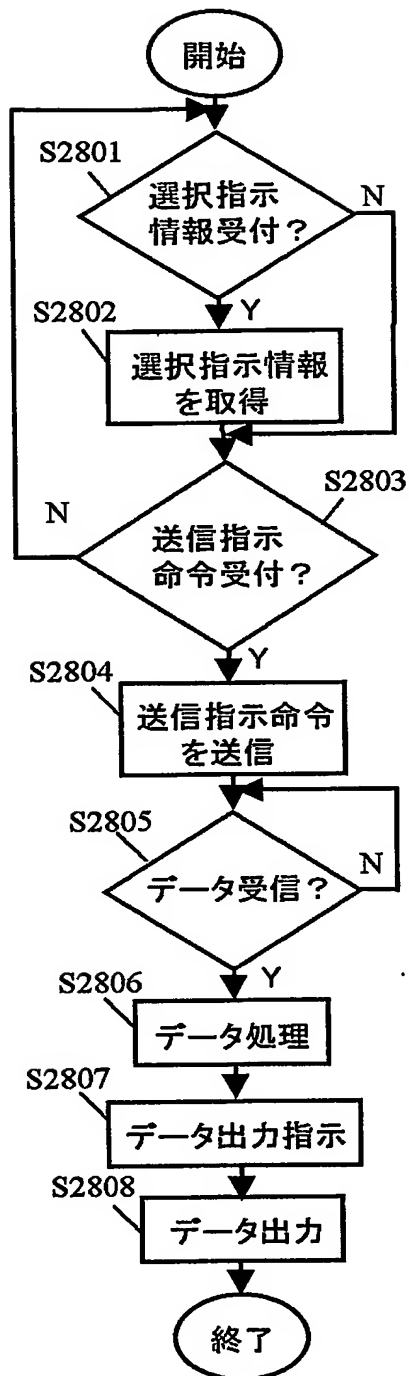
【図 2 6】



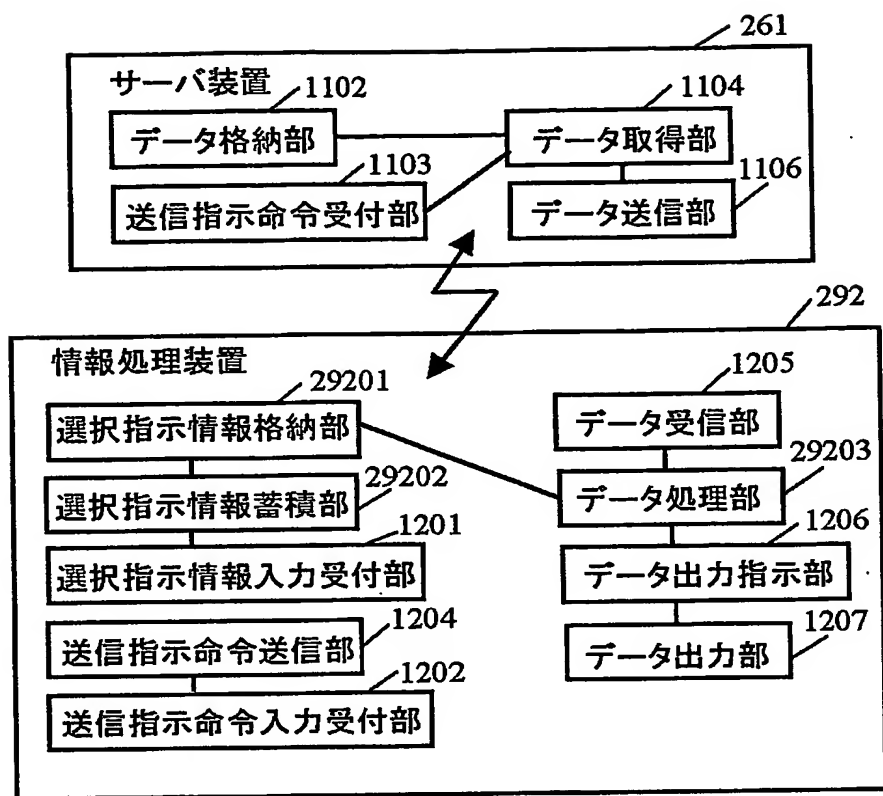
【図 2 7】



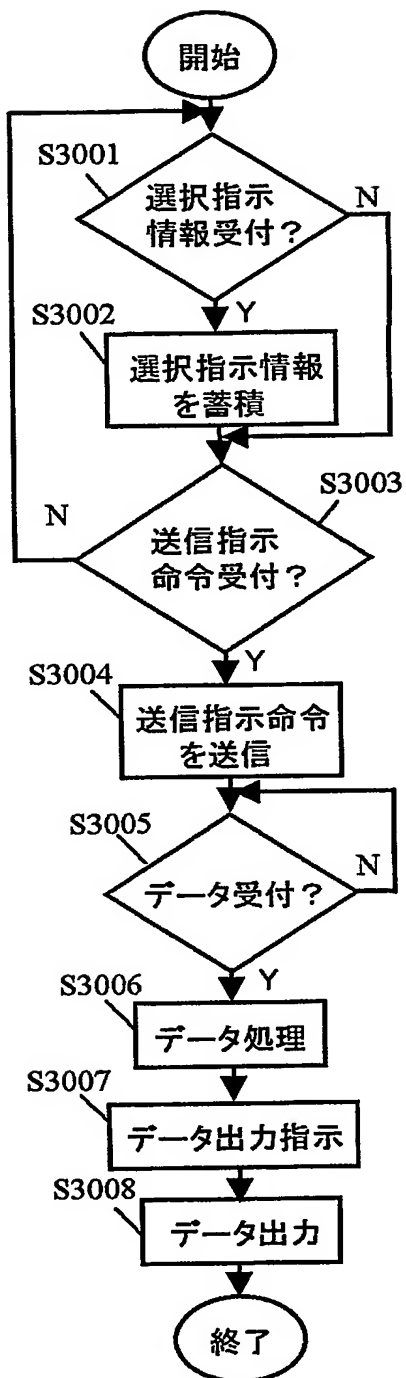
【図 28】



【図 29】



【図 3 0】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 従来、個人の嗜好や属性に合致したデータ出力をするためには、個人属性を入力する手間が必要であった。

【解決手段】 同じ機能を実現し、かつ属性値が異なるボタンが2以上表示されている入力画面上の当該2以上のボタンのうち、一のボタンの選択指示を受け付ける選択指示受付ステップと、選択指示受付ステップで受け付けた選択指示に基づいて、一のボタンの選択指示に関する情報である選択指示情報を記録する選択指示情報記録ステップと、選択指示情報記録ステップで記録した選択指示情報に基づいて、出力するデータを変えて出力するデータ出力ステップを具備するデータ出力方法により、個人属性を入力せずに、自然に、その個人にあったデータの出力が可能になる。

【選択図】 図1

特2002-056897

認定・付加情報

特許出願の番号	特願2002-056897
受付番号	50200293742
書類名	特許願
担当官	第七担当上席 0096
作成日	平成14年 3月 5日

<認定情報・付加情報>

【提出日】	平成14年 3月 4日
-------	-------------

次頁無

特2002-056897

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 .[000005821]

1. 変更年月日	1990年 8月28日
[変更理由]	新規登録
住 所	大阪府門真市大字門真1006番地
氏 名	松下電器産業株式会社

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☒ FADED TEXT OR DRAWING
- ☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.